

せ ん ぼ 通信 No.25

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「風の詩」

ジャフメイトに連載されていた、星野富弘さんの詩画「風の詩」が、9月で終了…と。表紙をめくると…草花や果物の絵と詩。そして群馬県立桐生高校の学友・館内端さんとのちょっとしたやりとり。そのやりとりは、友情やユーモアはもちろんですが…男同士なのに温もりが感じられ、楽しみしていました。終了は…過ぎゆく夏を送るような気持ちです。

星野富弘さん「風の詩」 つるうめもどき～

白い紙に…黄葉と、黄色の皮がはじけた、朱色の実が茶色のつるいっばいに…。そして、そのつるうめもどきが、額縁のように描かれ…まん中に、抱かれるように…詩が書かれています。

木の実は

おもいつきり きれいな
包装紙に からだを包んで
鳥の宅配便屋さんを 待っている
あて先は

山のむら

のはらさま

2歳のMちゃん、9月から保育園へ。ママさんといっしょに…コンニチワちっちゃくてかわいい…お客さま。ほわほわした声がききたくて、カウンター前で、はなしかける。Mちゃんおかえり…先生にさよなら…って、してきたの？

「ウン…ピッ」

(きをつけーの姿勢…)

「シェンシェ シャヨナラ…

メナシャン シャヨナラ…」

(手を前におじぎ…)

じょうじゅだねえ…パチパチ…まだまだ…慣れないはずなのに。「家に帰っても、ずうっとやっているんです…」と、笑顔のママさん。そうか…そうか…おぼえたことがうれしいんだね。

Mちゃん がんばっているね。

ママさんも がんばっています。

天気予報が好きな夫…の予報

「台風が、こっちの方へくる時は、アンタが100メートル走った後のように…よろよろになってくるから…。

あっちは…今、『カール・ルイス』だ…」。

まじめな顔で言っている…プツと吹きだしそうになった。

ふざけているの…？ のんきなだけ…？

予報も大事だけど…備えもお願い…。

それにしても…今年の台風は、農家のみなさんはドキドキ…。

道路沿いの、黄金色の田んぼをみながら…

夫の予報が…あたりますように…。

カール・ルイスではなく…私のようなとろい台風に。

そんなのは台風じゃない…と、言われるかな…。



鉢の底からでも花が…

撮影・幸次郎

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2016. 10. 1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail: kaikuu-0305@ezweb.ne.jp